



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

# 万葉のまち 市辺

第34号

平成28年1月



新年の準備「しめ縄づくり」  
三津屋町の神社役員の皆さん

発行:市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391  
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5302-3392  
ホームページ 万葉のまち市辺 <http://www.ichinobe.com/>



万葉のまち市辺

検索

# 年頭の挨拶

市辺地区まちづくり協議会

会長 堤 昭廣

みなさん明けましておめでとうございます。旧年中は、市辺地区まちづくり協議会活動にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。市辺地区まちづくり協議会の

目指す所は、「このまちで心豊かに住みつづけたい『万葉のまち市辺』」をスローガンにしています。スローガンを達成しようと思えば、市辺地区住民のみなさんの立場に立った活動を考えいかなければいけません。それにはみなさんのご協力がなくては成し得ません。問題も山積しています。

## 平成27年度 万葉フェスタ・第三回蒲生野万葉短歌会表彰式

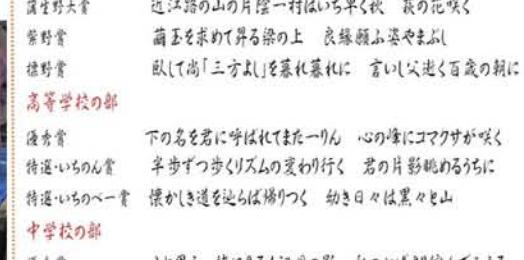
10月25日、今年度の「いちのべ万葉フェスタ」は市制10周年記念協賛事業として開催されました。多くの来場者で賑わった会場や、つぎつぎと繰り広げられるステージパフォーマンスなど、盛り上がった様子をご覧ください。

○高齢化社会における認知症の問題 ○青少年の携帯電話利用に関する問題 ○隣近所のお付き合いの希薄化 ○「ありがとうございます」「おたがいさま」の心の余裕、等々といろいろありますが、向こう三軒両隣の気持ちが大切だと思います。また、市辺地区まちづくり協議会の各団体においての活動は大変重要なと思いますが、各団体の横のつながり向こう三軒両隣と同じで隣近所を巻き込んでいき、各団体の合同企画の催事を広げていくことにより活発な活動や交流ができると思います。東近江市内で「市辺地区ここにあり。」といえるような、地区が出来ればその時「住んでいてよかった市辺」「住み続けたいと思える市辺」が出来てくると思います。市辺地区のみなさんの力を借りて「住んでいてよかった市辺」をめざして活動を行いたいと思いますので、本年もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

さあ フェスタ会場をご案内しま~す



入選首紹介



一般の部

蒲生野大賞 近江路の山の片陰一村はいち早く秋 萩の花咲く

紫玉を求めて昇る梁の上 良縁願ふ姿やまぶく

臥て尚「三方よし」を慕れ慕れに 言いし父走く百歳の朝に

高等学校の部

優秀賞 下の名を君に呼ばれてまた一りん 心の峰にコマクサが咲く

歩ずつ歩くリズムの変わり行く 君の片影眺めるうちに

懐かしき道を辿れば帰りつく 幼き日々は黒々と山

中学校の部

優秀賞 ひとりと一緒にあるく祖母の影 私のかげより縮んでみえる

いつもの日も頑張ることができるのは 太陽のような友がいるから

目の前にちはだかる物越えていけ 己をかえて己を超える

小学校の部

優秀賞 着い夏あこがれの場所甲子園 あと六年後に行ってみたいな

分かれ道どちらの道に進んでも 道の先にはかがやく未来

特選・いちのん賞 着くてもたえかけてもがんばるぞ たって最後の全員リレー

2015.11.05~08

## 市辺地区文化祭

主 催：文化祭実行委員会  
作品総数：約1,000点



次回テーマは

## 「布施の溜池の成り立ちについて」

### 歴史文化部

市辺れきし発見塾の第3回目として「布施山城をたずねて第3部」のビデオのお披露目会を11月29日に30名で開催しました。今回の作品は、布施山城跡と大森城跡を比較したものです。大森城主「布施淡路守」は布施城主「布施三河守」の分家です。大森城跡は、玉緒地区まちづくり協議会が中心となって整備されており、布施山城跡を今後市辺地区まちづくり協議会で整備していくという機運を盛り上げたいという気持ちを込めた作品にしました。上映会の後の座談会でも今後の取り組みについての話し合いをしました。

市辺れきし発見塾第4回目は、「布施の溜池の成り立ちについて」をテーマに東近江市教育委員会歴史文化振興課の嶋田直人氏を講師に迎えて講演会を開催します。日程は、2月14日（日）1時30分から、会場は市辺コミュニティセンターです。

現在、布施の溜池になっている所は、縄文時代から人が住んでいた形跡が有り、その後、溜池が出来ました、色々興味深い話が聞けると思います。

来年度の「市辺れきし発見塾」は、布施の溜池の勉強をしたいと思っていますが、今回の講演会がその先駆けになります。



## 認知症による徘徊者の早期発見・声かけ訓練

11月21日、東市辺町において「認知症による徘徊者の早期発見・声かけ訓練」が行われました。この訓練の目的は、認知症の理解を深めるとともに、徘徊された認知症の方の早期発見のための情報伝達、心に寄り添った声かけ方法を学び、日頃より「もしや！？」と思った時に声がかけられる地域づくりを目指すことにあります。

訓練の概要は、町内の認知症高齢者等が行方不明になったことを想定して町内を捜索。家族から自治会長への協力依頼があったとの想定により、連絡網を使っての「情報伝達訓練」ならびに徘徊されている方への「声かけ訓練」を行いました。また捜索訓練に続き反省会が行われ、講師の南部氏から「その人の願いに寄添うということは、行動の目的（その人のニーズ）を聞き出し、否定しないで、安心できる状況を作り出すことが必要」といった講評や「こうした訓練は1回ではなくこれからも続けて行って欲しい」と組長から意見が出されました。福祉協力員からは「大勢の人たちで取り組むことが出来、温かいまちづくりを確信できたことに感激した」という挨拶がありました。

今回の東市辺町の訓練には、他町から14名の参加者があり、総勢65名で取り組まれました。

〔主催〕東市辺自治会・福祉協力員・民生委員児童委員・市辺地区住民福祉活動計画推進会議



## 「わくわくこらぼ村」で今年度も「村長賞」

12月12日、アピア4階で「わくわくこらぼ村」が開催されました。この催しは各地区まちづくり協議会を始めとして、社会福祉法人・NPO法人などが取り組んでいる東近江市に無くてはならない地域活動が活発に行われていることから、そのような活動を市民の方に知ってもらうことを目的として開催されています。



当日は大変多くの来場者で賑わっていましたが、市辺地区から多くの方が参加されました。市辺地区まちづくり協議会のブースには、「布施山城を訪ねて第3部」の新作が紹介され、また、蒲生野万葉短歌会の入賞作品の紹介もし、ステージ発表として寸劇「コンポストとは何ですねん？」もあり、大きな関心を集めていました。そうした活動もあって、今年度も「村長賞」をいただき、より一層の励みになりました。

[主 催] 東近江市市民活動推進交流会実行委員会  
[共 催] 東近江市

## 新企画 このまち「にの人」

### 大津絵・水墨画

野口町 平田 隆さん



社会人50代後半、子どもの頃から好きだった絵画のサークルを勧められ、勤務先の大津や帰り道に草津の教室で習いはじめました。

その後、定年60歳から著名な先生に師事し、大津絵や水墨画について基礎から指導を受け、現在に至っています。



近年は農作業や年齢のせいで、休会が多く以前ほどではありませんが1ヶ月に8日ほど1日2時間程度、甲西や大津の公民館及びコミセン会館で勉強したり、展示会や写生会等指導に通っています

最近は我流ですが、日本画に挑戦しています。

## 安全安心部

# 部会だより

安全安心部は今年度より市辺地区の防災マップ作成に着手しました。各地区自治会のご協力を賜り、水害危険箇所と交通危険箇所の洗い出しを実施し、現在マップへの落とし込みを行っています。

防災マップは各地区ごとに住民の皆様に危険箇所等の情報を共有していただき防災活動に役立てていただくことを目的としています。来年度以降は更に別の危険箇所等に追記していく予定です。

また、夏期に引き続き年末にも防犯パトロールに参加させていただきました。来年度以降も同様に防犯パトロールは継続参加したいと考えています。

最後にすでに回覧させていただきましたが普通救命講習会(AED講習会)を2月に開催の予定です。

万が一の場合に備えて、多くの方のご参加を心待ちにしております。(参加希望者は下記まで)

### <普通救命(AED)講習会>

日時	平成28年2月28日(日)午前9~12時
場所	八日市消防署
申込	市辺コミセン内 まちづくり協議会事務局(Tel.050-5802-3392)
締切り	平成28年1月29日(金)

## 健康福祉部

昨秋11月23日(祝)午前10時から、市辺コミセン調理室で17名の参加で「豆腐作り」を開催しました。みなさん初体験者ばかりでした。永井先生の指導で4グループにわかれ、各工程を経て豆腐、おから、ゆばが出来上がりいました。

おからはクッキーに変身、ゆばは膜を探り上げるのに苦戦、豆腐は木綿豆腐でそれぞれグループで固さが違いました。昼食は豆腐とワカメの味噌汁、冷奴、ゆば、酵素入り玄米食で舌鼓み、おからクッキーも大変おいしかったです。

### <お知らせ> みなさんのご参加待っています!

健康講座開催 1月30日(土)市辺コミセン

第1部 10:00~11:00

#### 『タバコによる健康被害と受動喫煙の被害』

講師 薬剤師 石田さき子さん

第2部 11:00~12:15

#### 『楽しく脳を活性化!!認知症予防』

昭和のメロディにのせてみんなで歌おう

講師 東岸佐優里さん

## 子ども健全育成部

12月6日、消防士2名、第六分団消防団員5名、まちづくり協議会長と広報部1名、安全安心部3名、子ども健全育成部員6名、そして一番お骨折りを頂きました子ども会の親子で50名の参加を頂き無事、子ども防災セミナーを終えることができました。

最初は、消防士2人による「地震が起きたらどうする?」という事で、学校で習っている事の復習をしながら補足という形で、教えていただきました。トイレに入った時グラッ

ときたら先にドアを開けて用を足す事、又上靴を履いている時はそのまま逃げる。もし、スリッパや素足の時は、必ず靴を履いて逃げる事。その時、頭を守れる物(帽子やバスタオル)をもって、搖れが納まるのを待って行動する。その後は、もし怪我をしたらという事で、二人一組になり、三角巾を作つて、手当の仕方を習い、又血が流れている時は、三角巾をたたんだり、近くにある布を傷口に当てて、強く押す等、実技を交えて、教えて頂きました。

その後、第六分団の5名の方による放水訓練見学。最後に参加した子どもたちが子ども用防災服に身を包み、ホースの筒先と一緒に持たせてもらって、体験しました。

男子より女子の方が活発に訓練している姿を見て、近い将来、女性の消防士・消防団員の活躍が当たり前になっていく日が来るのかなと、頼もしく思いました。

## 自然環境部

12月12日、アピア4階で開かれた「わくわくこらぼ村」に今年も参加し、ステージで寸劇「コンポストってなんですねん?」をやり、市辺の生ごみ堆肥化を紹介しました。部員が一丸となって取り組む姿が評価され、昨年度に続き今年度も村長賞に輝くことができました。市辺地区全体の環境意識に対する賞でもあると誇りに思います。

さて年明けですが、今年度も見学研修を次の通り開催致しますので、多数の方のお申込みをお待ちしております。

### <見学研修>

日 時	平成28年2月10日 8:30出発
行 先	京(みやこ)エコロジーセンター、他
参 加 費	3,500円
申 込	市辺コミセン内 まちづくり協議会事務局(Tel.050-5802-3392)
	締切り 平成28年2月3日(水)

## 地域活力部

今年度は、会員の参加が極端に少なかったため、当部の部長副部長を選任できませんでした。来年度は、スムーズに役員選出ができるよう努めたいと思います。

昨年、万葉の森に植栽したムラサキが、7月末には殆ど枯れましたが、今年は新たな対応に取り組んで行きたいと思います

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

年の瀬も押し詰まると、この一年の世相を反映した「漢字一字」を清水寺貫主が揮毫されます。この「漢字」は全国の一般の人たちの投票によって決まるってご存知でしたか? 11月中旬に夫婦で京都の街歩きを楽しんできましたが、清水寺に立ち寄ったら投票箱がありましたので想いの漢字を投じました。それがなんと、投じた漢字の「安」に決まったのです。今年は「安心」の「心」豊かな一字で締めくくれる様に祈らずにはいられません。皆様のご健康を祈念し、本年もどうぞ宜しくお願いします。 (T)